

## (巻頭特集) コロナ禍における横浜市の人口移動について

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、横浜市における一昨年 2020 年（令和 2 年）の人口移動は、東京都間での長年の転出超過から転入超過への転換、外国人の流入の激減など、これまでの傾向とは異なる特徴的な動きがみられました。

そこで、コロナ禍 2 年目を迎えた 2021 年（令和 3 年）の人口移動も、同様の動きが続いているのか、あるいは一過性のものとして従来の傾向に戻る動きがあるのか、主に流行直前の 2019 年（令和元年）の結果と比較しながら確認していきます。

### 1 年次の転入・転出者数

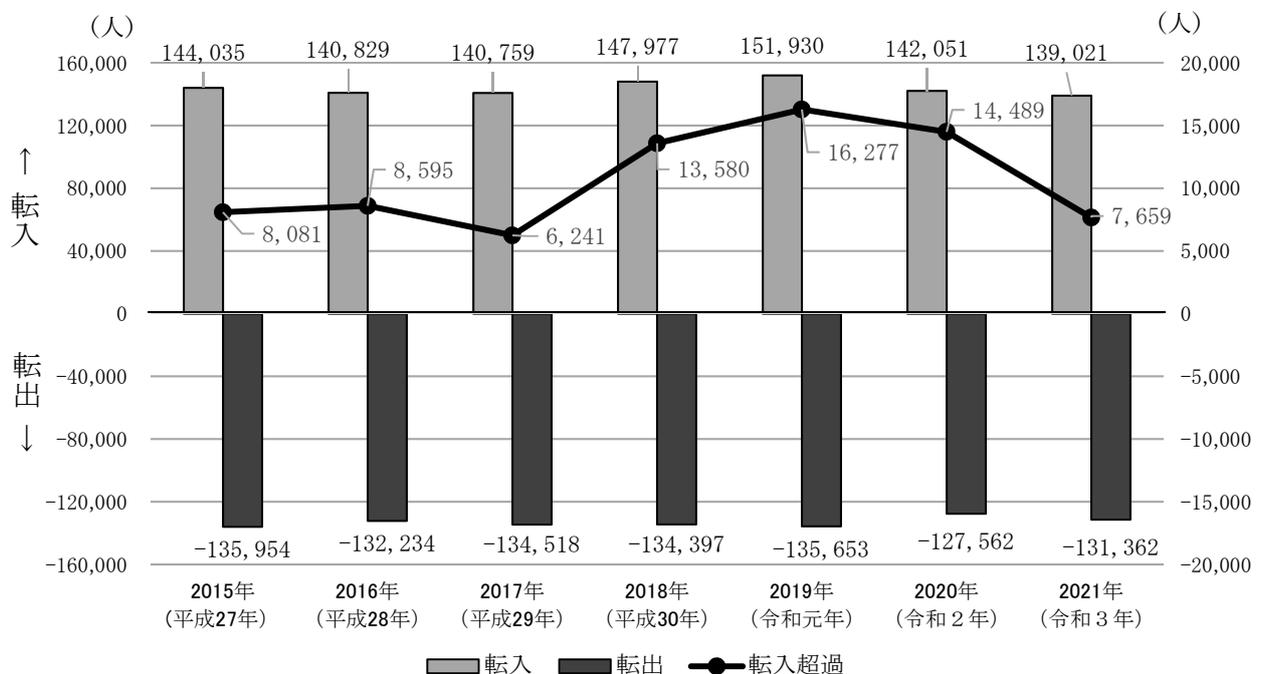
#### ・転入者数は前年に続き減少し、13 万人台に

2021 年の転入・転出者数の状況は、転入が前年比 3,030 人減の 139,021 人、転出が同 3,800 人増の 131,362 人で、転入から転出を差し引いた転入超過数は 7,659 人でした。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まった 2020 年は、最初の緊急事態宣言が発令されるなど、人流を抑制する措置がとられた影響などから、前年 2019 年と比べ、転入が 9,879 人減（151,930 人→142,051 人）、転出が 8,091 人減（135,653 人→127,562 人）と、それぞれ大きく数を減らす結果となりました。

2021 年は、転入が 2020 年に続いて減少し、14 万人を割り込みました。転入が 13 万人台となるのは、東日本大震災のあった 2011 年及び消費税率引き上げのあった 2014 年以来のことです。[図 1]

図 1 転入・転出者数及び転入超過数の推移（2015 年～21 年）



※ 便宜上、転出をマイナスで表記しています。

## 2 月別の転入・転出者数

### ・4月期の転入者数が前年より大幅に減少

2021年の転入・転出者数を月別にみると、転入者数は、12か月のうち8か月で新型コロナウイルス感染症流行前の2019年を下回りました。

特に4月期は、最初の緊急事態宣言が発令された2020年の減少幅よりも大きく減少（△1,806人→△3,283人）しました。通常、就職や進学に伴う移動が多くなる時期ですが、コロナ禍2年目でテレワークが企業などで普及したことや授業をリモートで行う学校が増えたことが、転入の減少につながっている可能性が考えられます。

1月期から3月期にかけては、2度目の緊急事態宣言が発令されていたものの、対2019年比では大きな増減はみられませんでした。ただし、2020年の同時期が新型コロナウイルス感染症の流行が本格化する前で、移動への影響がなかったこともあり、前年との比較では各月で減少しています。

転出者数は、全体的には2020年ほどの大きな減少はなく、7月期と10月期を除き、各月で減少幅が縮小もしくは増加幅が拡大しています。【表1】

表1 月別の転入・転出者数（2019年～21年）

区分・年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
<b>転入者数</b>													
2019年(令和元年)	9,423	9,725	27,135	20,896	11,422	10,167	11,796	10,274	10,909	11,614	8,737	9,832	
2020年(令和2年)	9,590	10,338	29,430	19,090	7,424	8,786	9,369	9,474	9,292	9,717	9,421	10,120	
2021年(令和3年)	9,183	10,064	27,852	17,613	9,124	10,205	9,457	9,551	8,738	9,396	9,081	8,757	
対2019年比	2020年	167	613	2,295	△ 1,806	△ 3,998	△ 1,381	△ 2,427	△ 800	△ 1,617	△ 1,897	684	288
	2021年	△ 240	339	717	△ 3,283	△ 2,298	38	△ 2,339	△ 723	△ 2,171	△ 2,218	344	△ 1,075
<b>転出者数</b>													
2019年(令和元年)	9,253	10,228	23,900	13,528	10,288	9,805	11,351	9,900	10,161	9,565	8,569	9,105	
2020年(令和2年)	9,033	10,228	23,474	12,259	7,132	8,896	10,241	9,069	9,756	9,450	8,692	9,332	
2021年(令和3年)	9,158	10,457	23,962	12,561	8,680	10,063	9,489	9,427	9,998	9,101	9,017	9,449	
対2019年比	2020年	△ 220	0	△ 426	△ 1,269	△ 3,156	△ 909	△ 1,110	△ 831	△ 405	△ 115	123	227
	2021年	△ 95	229	62	△ 967	△ 1,608	258	△ 1,862	△ 473	△ 163	△ 464	448	344

太枠は、神奈川県に緊急事態宣言が発令された期間が含まれる月

## 3 地域別の転入・転出者数

### ・転入超過数は、東京都が拡大し、他の道府県は縮小

2021年の転入・転出者数を主な地域別にみると、神奈川県内はコロナ禍前の2019年と比べ転入、転出とも増加しています。転入は2020年から増加幅が拡大（441人→1,467人）し、転出は縮小から拡大（△1,008人→1,066人）に転じています。転入超過数は、2020年に転出が減少したため△520人に縮小しましたが、2021年は△1,568人に拡大しています。

東京都は、2020年に転入増、転出減により22年ぶりに転入超過に転じましたが、2021年もその流れは継続しており、転入超過の幅は拡大（198人→2,685人）しています。

他道府県は、コロナ禍前より転入の減少が続き（2020年△3,972人、2021年△5,670人）、転入超過数も1万人を割り込み6,393人となりました。地方から東京への人口集中の傾向が弱まっていることもあり、東京圏に位置する横浜市への流入も縮小の動きが進んでいます。

国外は、感染拡大防止のため水際対策が強化されている影響を受け、コロナ禍前より2年続けて転入者数が大きく減少しており、2019年に8,535人あった転入超過数は2021年では149人まで縮小しています。【表2】

表2 主な地域別の転入・転出者数、転入超過数（2019年～21年）

	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	対2019年比	
				2020年	2021年
<b>神奈川県内</b>					
転入者数	34,249	34,690	35,716	441	1,467
転出者数	36,218	35,210	37,284	△ 1,008	1,066
転入超過数	△ 1,969	△ 520	△ 1,568		
<b>東京都</b>					
転入者数	31,531	33,897	35,638	2,366	4,107
転出者数	35,639	33,699	32,953	△ 1,940	△ 2,686
転入超過数	△ 4,108	198	2,685		
<b>他道府県</b>					
転入者数	64,269	60,297	58,599	△ 3,972	△ 5,670
転出者数	50,450	49,984	52,206	△ 466	1,756
転入超過数	13,819	10,313	6,393		
<b>国外</b>					
転入者数	21,881	13,167	9,068	△ 8,714	△ 12,813
転出者数	13,346	8,669	8,919	△ 4,677	△ 4,427
転入超過数	8,535	4,498	149		

神奈川県内と東京都をさらに細かな地域ごとでみると、神奈川県内は東京寄りの川崎市からの転入が増加している一方、県央（相模原市や大和市など）や湘南（藤沢市や茅ヶ崎市など）の各地域への転出が増加しています。

東京都は、特別区部において転入増・転出減の動きがより大きくなっており、コロナ禍で都心部から郊外へ移住する流れが強まっている傾向を示す結果となっています。[表3]

表3 神奈川県内及び東京都の地域別の転入・転出者数、転入超過数（2019年～21年）

区分・年	神奈川県内					東京都				
	川崎市	横須賀三浦	県央	湘南	県西	特別区部	町田市			
<b>転入者数</b>										
2019年(令和元年)	34,249	14,084	5,963	7,247	5,888	1,067	31,531	24,533	1,556	
2020年(令和2年)	34,690	14,821	5,848	6,903	5,960	1,158	33,897	27,053	1,474	
2021年(令和3年)	35,716	15,612	5,885	7,081	6,140	998	35,638	29,024	1,519	
対2019年比	2020年	441	737	△ 115	△ 344	72	91	2,366	2,520	△ 82
	2021年	1,467	1,528	△ 78	△ 166	252	△ 69	4,107	4,491	△ 37
<b>転出者数</b>										
2019年(令和元年)	36,218	14,239	5,071	9,062	6,844	1,002	35,639	27,873	2,413	
2020年(令和2年)	35,210	13,088	5,051	8,949	7,099	1,023	33,699	26,300	2,083	
2021年(令和3年)	37,284	13,465	5,044	9,853	7,863	1,059	32,953	25,444	2,437	
対2019年比	2020年	△ 1,008	△ 1,151	△ 20	△ 113	255	21	△ 1,940	△ 1,573	△ 330
	2021年	1,066	△ 774	△ 27	791	1,019	57	△ 2,686	△ 2,429	24
<b>転入超過数</b>										
2019年(令和元年)	△ 1,969	△ 155	892	△ 1,815	△ 956	65	△ 4,108	△ 3,340	△ 857	
2020年(令和2年)	△ 520	1,733	797	△ 2,046	△ 1,139	135	198	753	△ 609	
2021年(令和3年)	△ 1,568	2,147	841	△ 2,772	△ 1,723	△ 61	2,685	3,580	△ 918	

※神奈川県内の各地域に属する市町村（本文で使用する区分とは異なる）

- ・横須賀三浦…横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
- ・県央…相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
- ・湘南…平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、伊勢原市、秦野市、寒川町、大磯町、二宮町
- ・県西…小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

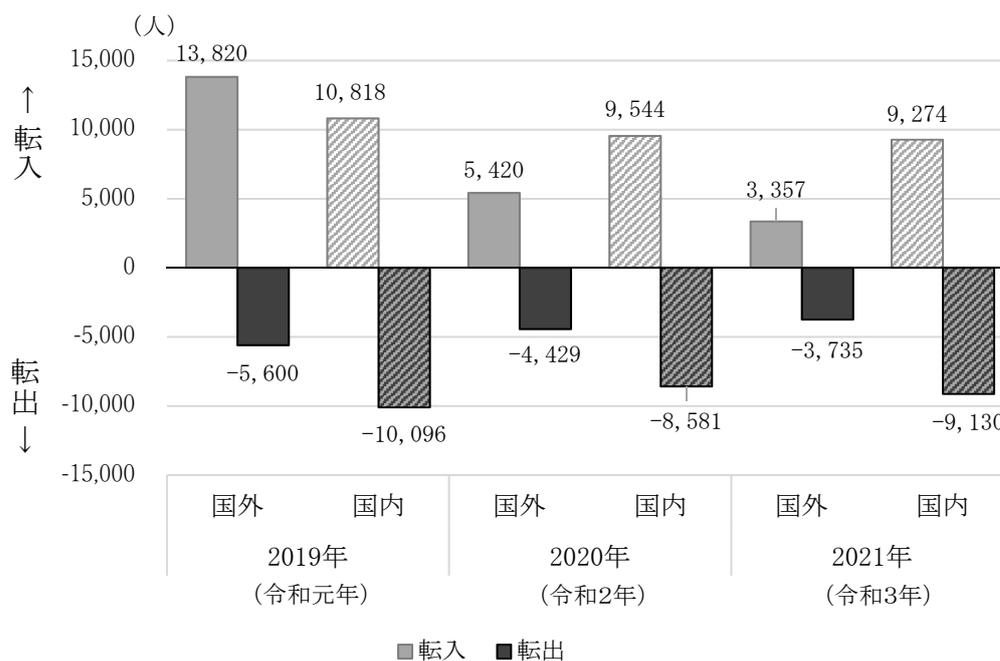
## 4 外国人の動き

### ・ 国外からの転入者数はコロナ禍前の半数以下の水準に減少

外国人は、水際対策強化のための新規入国制限の影響を受ける形で、国外からの転入者数が2年続けて減少し（2019年 13,820人→2020年 5,420人→2021年 3,357人）、コロナ禍前の半数以下の水準にまで落ち込んでおり、2021年は転出者数（3,735人）を下回る転出超過となっています。

[図2]

図2 外国人の転入・転出者数（2019年～21年）



※ 便宜上、転出をマイナスで表記しています。